

魅せる!  
現場

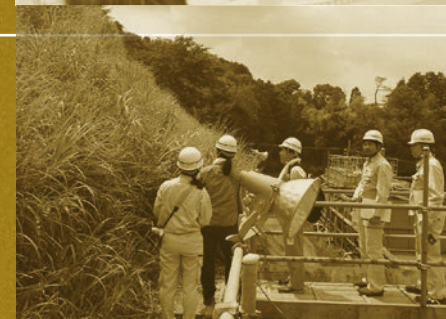
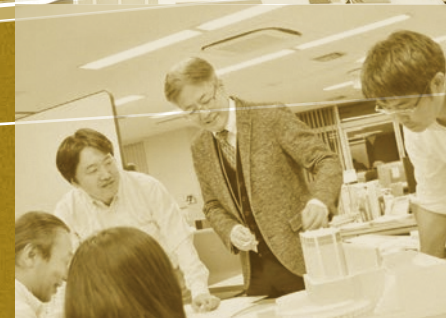
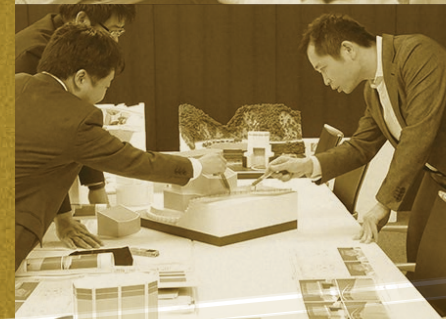
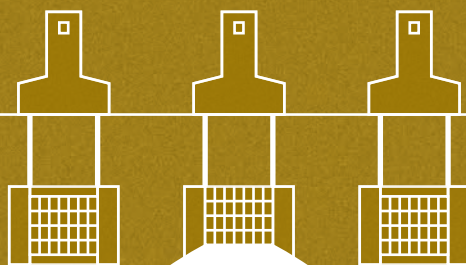
現場を支える人々編

天ヶ瀬ダム再開発 景観関係資料作成業務

Design philosophy | 私たちのデザイン理念

## 国土・景観・生活のトータルデザイン

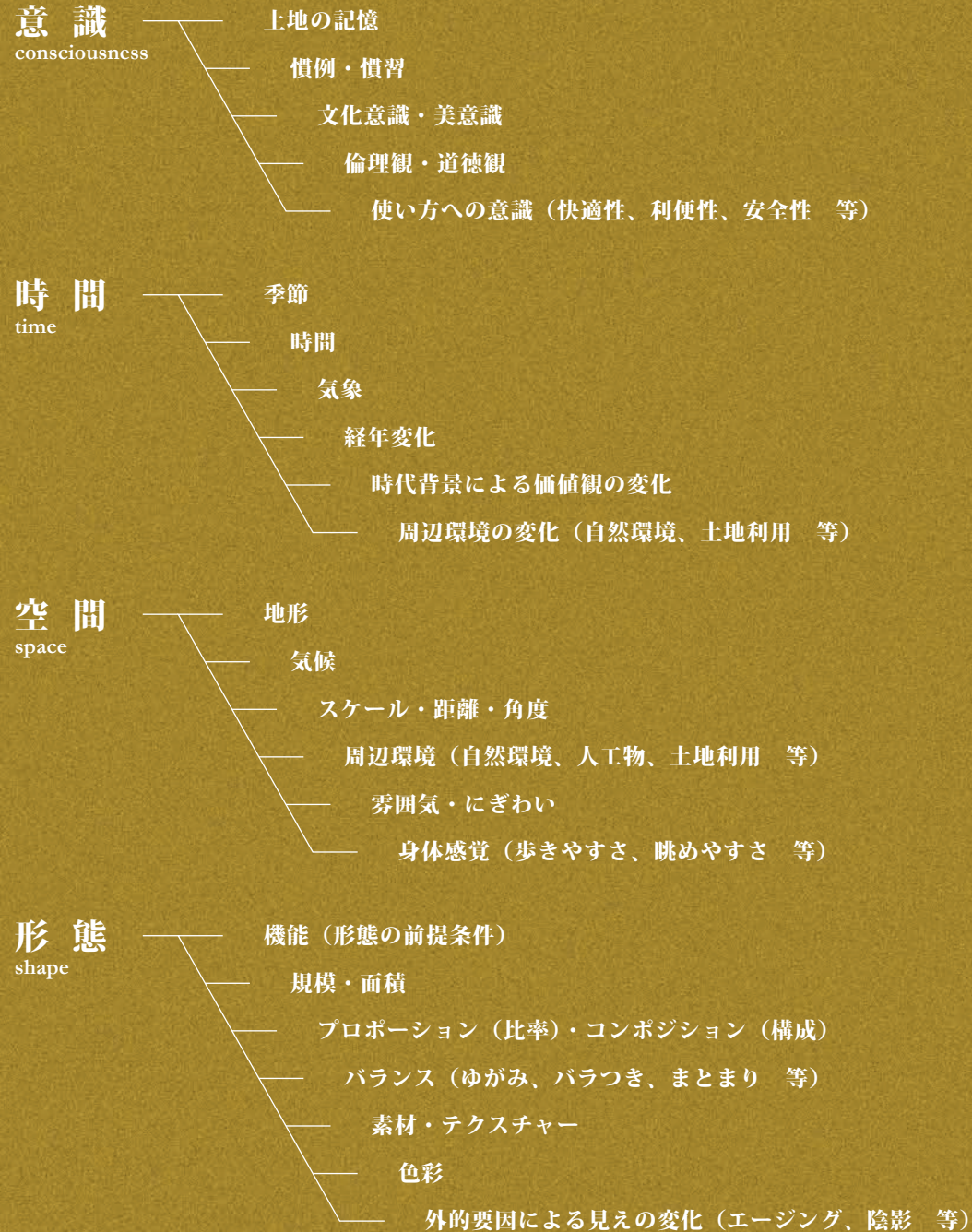
豊かな自然風景の中に佇む天ヶ瀬ダム。宇治の市街地からほど近く、四季折々の表情が地域や観光客の方々に親しまれています。その再開発事業にあたっては、いかに従前からの風景価値を残すか、また、新たな構造物等を周囲に馴染んだものとしていかにデザインするかが重要となります。デザインは、形態や空間といった視覚的に認識しやすいものに捉われがちですが、本来は人の精神や感情に伝える無形の思想・理念の上に成り立つものであり、その表象として形態や空間が存在します。だからこそ、デザインに際しては、形態、空間だけに捉われず、意識、時間という観点を含むアプローチが必要であり、これらを構成する要素と人との関わりまでを考えることが求められます。再開発事業のデザインでは、空間全体を把握するヴァーチャルリアリティ・コンピュータグラフィックスや模型等の視覚的な資料を駆使しながら、その背景にある地域の生活様式や思考、時間の移り等を考慮して、それらの要素を丁寧につむぐことに注力しています。そして、その結果としてのデザインが、国土を守り豊かな景観をつくり地域の生活に貢献することを、私たちは心掛けています。



# 天ヶ瀬ダム の デザイン要素

私たちが検討する放流設備の「流入部」「ゲート室部」「吐口部」のデザインでは、鳳凰湖、里山、宇治川を始めとする周辺の自然環境との『調和』を基本方針に掲げ、これらとの関係性に配慮しています。ここで、私たちは『調和』を考える視点として「意識」「時間」「空間」「形態」の4つを設定し、デザインアプローチを試みました。長い時間存在し、利用され続ける土木施設のデザインを考える上では、それぞれの視点は単独で成立せず、これらを構成する要素とその関係性を考えてアウトプットを導きます。

## Design elements | デザインの要素





## デザインとは、人々の思いをつむぐこと

池田 大樹 Hiroki Ikeda

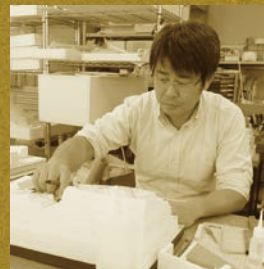
土木のデザインとは、大地に「あるカタチ」を刻みつけること。その場所には、住んでいる人、使う人、作る人、訪れる人…、様々な思いや願いが込められているからこそ、そこに真摯に向き合い、思いを1つの物語にまとめ上げることが大事。100年後の人にも、その物語が伝わり、「良いものを創ったね」と言ってもらえるように。



## 調整することもデザインの仕事

高楊 裕幸 Hiroyuki Takayanagi

再開発事業の景観関係業務に携わり 5 年目を迎える。昨年まで管理技術者を務めたが、今年は業務管理を後進に譲り、見守り役兼“関連業務の内容確認やデザイン照査”を担う。ダム事業は長い年月を要し、その間社会情勢も変化する。真に地域のあるべき姿をコンセプトに託し、関連事業や社会要請を調整することも景観デザインの仕事と心得る。



## きっかけと醸成

秋山 貴久 Takahisa Akiyama

土木構造物は、自然環境や地域文化に敬意を払い整備し、それを起点として人ともものが動き、醸成していく。空間に馴染ませ成長させる、その見極めと対策が難しいですが、やらねばならないところです。



## 寛容さを持ったデザインを

山田 悠未 Yumi Yamada

デザインは、風景や空間を享受するエンドユーザーの存在があってこそその価値を発揮するものだと思います。人々の偶発的な行動の積重ねが、時間をかけて新しい風景をつくっていく。それらを受け入れる寛容さを持ったデザインを心掛けたいです。



## 温故知新

米田 徳彦 Norihiko Yoneta

土木のデザインは、目新しい、目立ったものをつくと捉えられがちだが、古からの知恵と技術、経験を踏まえ、現代に適したものを創造・創出するものだと考える。今後も安心して豊かな生活、国土が保てるように。



## 難しく考えちゃうと大変なんです

松崎 喬 Takashi Matsuzaki

抽象を納まりの良い具象にするのがデザイン。無限の時空に展開する森羅万象のなかに破綻なく必然を以て納めなければならぬ。しかもデザインは生きもの。容易に手に負えない、難しい、だから必要肝腎なのは遊び心。

▶▶▶ 次回は、「天ヶ瀬ダム再開発トンネル減勢池部建設工事」を担当する『大林・飛鳥特定建設工事共同企業体』です。